

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

カイハラ産業(株) 上下工場

(2) 事業所の所在地

広島県府中市上下町階見1167

(3) 業種

綿・スフ織物業

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成26年度を基準年度とし、平成29年度から平成32年度までの__4__年間とする。

3 計画の基本的な方向

1、基本的な考え方

カイハラグループは、先人より受け継いだ自然の恵みを次世代へと引き継ぐ為に、環境保全活動を重要課題掲げ、地球環境負荷の軽減、省エネルギーの推進、資源の有効活用を軸として、自主的かつ積極的に取り組みを行い、持続可能な社会の構築に貢献する。

2、基本方針

1、環境に関する法令等の順守

環境関連法規及び当社の合意した協定を順守する。

2、自然環境への配慮

自然生態系及び地球社会への影響に配慮し、水・待機環境への負荷低減に積極的に取り組む。

3、資源、エネルギーの有効活用

限りある資源を有効活用する為、省エネルギー、省資源、再利用を推進する。

4、継続的改善と持続可能な社会形成環境方針に沿って、環境目標を設定し、定期的な内部監査・見直しを行い継続的に努めて地球環境保全を強化していくことで持続可能な社会形成に寄与する。

5、環境方針の周知と開示

この環境方針はグループ全社員に周知するとともに広く開示する。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成26年度	平成29年度
二酸化炭素	4,514	3,305

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2				0
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計	0	#DIV/0!	0	0
温室効果ガス みなし排出量	0	-	0	0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産数量：7.06/百万㎡

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成26年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成32年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	4,514	226.6	19.92	5.6	3,294	175.2	18.80
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量	4,514	226.6	19.92	5.6	3,294	175.2	18.80
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	1,607.00	23.0	-	-	1,237.00
目標設定の考え方	エネルギー消費原単位として原単位ベース年1%の削減率						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	原油換算使用量の2%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・2015年12月実施：温室効果ガスの少ない燃料への転換（Δ重油⇒LPG） ・炉筒ボイラ5t/1台、2t/1台⇒貫流ボイラへ転換3t/2台 ・廃熱回収による有効利用 ・冷凍機を蒸気式⇒LPG式の高効率へ転換
2	電気使用量の削減	電気の使用量を5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・2015年12月実施：LED照明への更新 909灯 ・2016年3月実施：水銀灯⇒LEDへの更新10灯 ・2016年9月実施：高効率モーターへ更新3台 ・2018年11月予定：LED照明への更新620灯 ・LED照明への更新
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

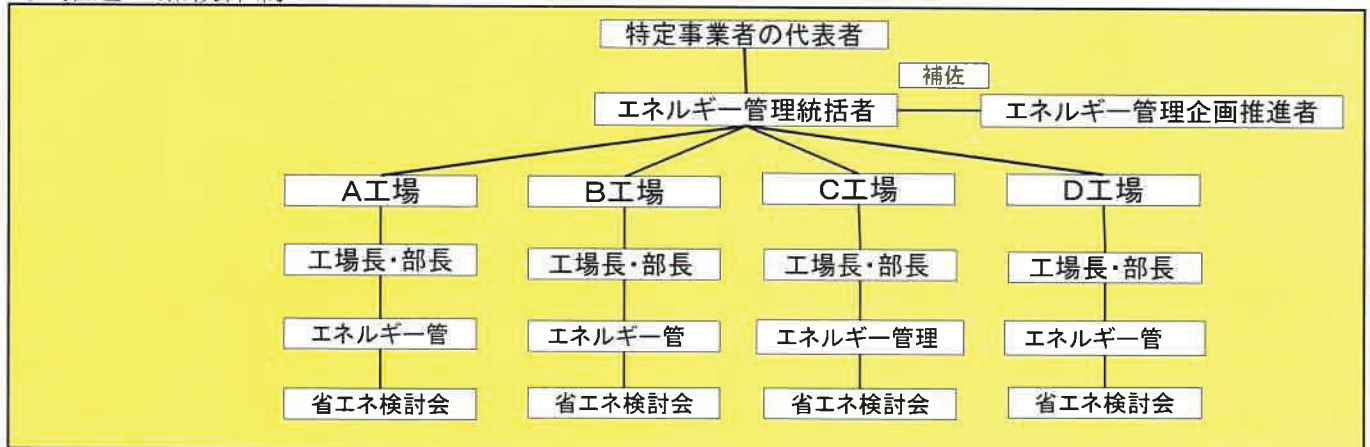
○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

・省エネ検討会で、毎年の温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を定期的に、評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。
又、毎年度の取組状況、点検・評価内容等については、計画書と共に公表する。

(3) 計画書等の公表

- ・施設分科会、メールにて公表する。
- ・当社のホームページ上で公表する。
- ・毎年度発行するCSR報告書(環境報告書)において、計画内容及び進捗状況を掲載する。